

2023 年 おやじの山旅 九州の山(南部)

(2023 年 5 月 24 日～6 月 1 日)



縦走路から宮之浦岳を望む (5 月 26 日 7 時 40 分)



宮之浦岳登頂

1936m

(5 月 26 日 11 時 25 分)

1.趣旨

長年デンソー山岳部で活動した仲間達が定年を迎えた。
その仲間達で2016年におやじの山旅を立ち上げた。
かけがえのない仲間達でこれからも山を楽しみ続けたい。(その8年目)

2.コンセプト

山を通して自然・郷土料理、現地の人とのふれあいを楽しむ。

3.計画

山域・山名 九州の山(南部) 6座

永田岳、宮之浦岳、黒味岳、開聞岳、霧島山(韓国岳、高千穂峰)

期間 2023年5月24(水)～6月1日(木) 9日間

参加者と役割分担

No.	氏名	役割	登山担当リーダー	保険	生年月日	年齢	血液
1	金子 清	CL・渉外	霧島山(韓国岳)	登山S	1955/5/10	68	A
2	町田 修	SL・地形・記録	霧島山(高千穂峰)	登山S	1955/9/5	67	B
3	津田 廣一	記録(正)	永田・宮之浦・黒味岳	登山S	1953/6/20	69	O
4	津田 利栄子	(ゲスト)		ハイ1	1955/8/11	67	B
5	竹内 幹雄	気象・写真		登山S	1951/10/26	71	O
6	天野 広	会計		登山S	1955/4/25	68	AB
7	上田 正博	記録(副)	開聞岳	ハイ1	1950/5/23	73	A
8	鈴木 浩子	(ゲスト)					

スケジュール(概要)

No.	2023年 月/日	山名	標高 (m)	登山コース	登山行動 時間(h)	担当	宿泊先
1	5/24(水)	(移動)		(中部国際空港～鹿児島空港～屋久島空港)		金子	民宿 屋久島
2	5/25(木)	永田岳 宮之浦岳 黒味岳		白谷雲水峡～楠川分れ～(大株歩道)～新高塚小屋	8:00	津田	新高塚小屋
3	5/26(金)			新高塚小屋～焼野三叉路～永田岳～宮之浦岳～栗生岳～ 黒味岳～花之江河～淀川小屋	11:00		淀川小屋
4	5/27(土)			淀川小屋～淀川登山口～(観光)	1:30		民宿
5	5/28(日)	(予備日)		(観光)		竹内	屋久島
6	5/29(月)	(移動・観光)		屋久島空港～鹿児島空港～(観光)～指宿温泉		竹内	休暇村指宿
7	5/30(火)	開聞岳	924	かいもん山麓ふれあい公園P～開聞岳(往復)	5:00	上田	ホテルピコ
8	5/31(水)	韓国岳	1700	えびの高原～韓国岳(往復)	3:30	金子	ラナイえび の高原
		高千穂峰	1574	高千穂河原～鞍部(背門丘)～高千穂峰(往復)	3:00	町田	
9	6/1(木)	(観光・ 移動)		～(観光)～鹿児島空港～中部国際空港	4:00	金子	

行き 5/24 (水) : 中部国際空港 7:55～ (ANA2515 便) ～鹿児島空港 9:20

鹿児島空港 11:25～ (JAL3745 便) ～屋久島空港 12:05

帰り 5/29 (月) : 屋久島空港 10:05～ (JAL3740 便) ～鹿児島空港 10:40 鹿児島空港～の移動はレンタカー

6/1 (木) 鹿児島空港 20:20～ (ANA2518 便) ～中部国際空港 21:40

九州の山 (南部) 登る山(6座)



4.思い出の1コマ、1コマ

5月24日 移動日 (セントレア→鹿児島→屋久島へ)



航空展示館見学



運転シミュレーション



足湯でリラックス



屋久島着いた～



いきなり飛魚!

5月25日 永田、宮之浦、黒味岳目指し、今日は新高塚小屋まで頑張るぞ～



白谷雲水峡ハイキング



シカの宿 (1本とった近くに①)



くつろぐ面々 (2本目②)



小杉谷山荘跡 (③)



ウイルソン株の中へ入って



翁杉 (朽果てて!)



夫婦杉 (手をつないでる?)



サクラツツジ

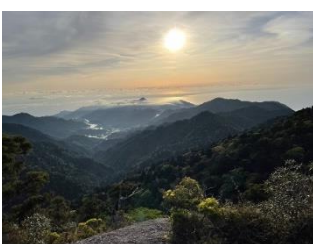


フタリシズカ

5月26日 屋久島ハイライト いざ永田岳、宮之浦岳、黒味岳へ



花園を出発だ!



陽が昇り雲海が広がる



ビヤクシの巨岩



第2展望台を過ぎ



シャクガを楽しみつつ



ウラジロノキ???



綺麗でしょ!



平石を過ぎ、宮之浦が見事に映えた



屋久島猿の歓迎



永田岳遠望



永田が近づいて（パチリ！）



永田岳登頂だ！



宮之浦への登り返し



あれぞ宮之浦じゃ～



宮之浦バックのポーズ



宮之浦登頂だ！



翁岳だぞ



黒味岳、疲れた～



花之江河で目が合っちゃった



今宵は町田・金子・竹内の3名がテン泊

5月27日 下山日です ついでに観光も



淀川小屋水場



あっという間に登山口



林道途中の川上杉

(これもでかい)



紀元杉バス停で一休み



紀元杉全体

紀元杉	
樹高	19.5m
胸高幹囲	8.1m
樹齢	約3,000年
標高	1,230m
喜生植物	ツバキ・ヒノキ・ヤマグルマ・サク ラツツシ・オオヤクシマジャクナ グ・アセビ・マンバヤマシグレ・ ヒカゲツツシ・フナカマド・アウ シバモドキ・シドミ・トカウイヌ ツグ・ソヨゴ・ミヤマシキミ・ユ ズリハ
林研庁	鹿児島県管理 2000.5



どでかい紀元杉



紀元杉からパワーを??



今夜は大ご馳走だ

5月28日 観光（屋久杉自然観、千尋の滝、海中温泉、大川の滝、ガジュマル園）



屋久杉自然観（左から、縄文杉全体像・暴風で折れた部分・当時の新聞）

屋久どんで昼食

千尋の滝でパチリ



平内海中温泉（満潮で入れず）

大川（おおこ）の滝

ガジュマル園見物

5月29日 移動（屋久島→鹿児島）と観光（知覧特攻平和会館）



無事飛んだ！

*「知覧平和会館・若き特攻隊員の遺影・出撃を見送る女学生・出撃前子犬と遊ぶ特攻隊員」（パンフレットより）

5月30日 開聞岳（蒸し暑い登山でしたね～ 軽いハイキングのつもりが・・・？）



さ～出発！

林道長いです

やっと登山口（CLお疲れ？）5合目（見えませんね）

登頂したよ



いい笑顔だね

コガクウツギ

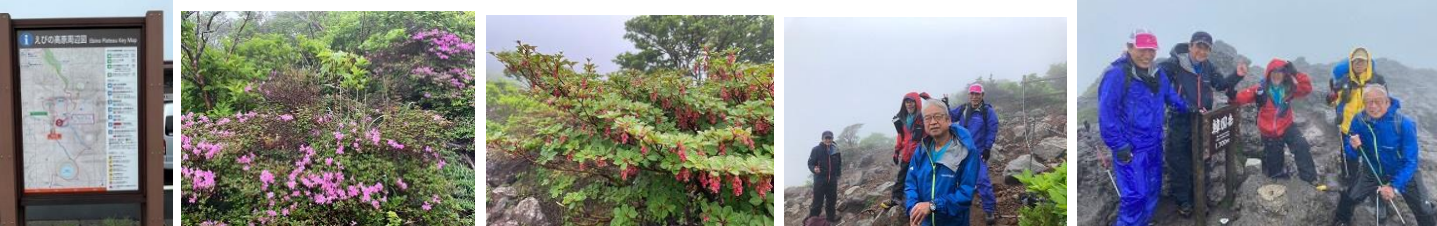
アルストロリア・プルケ

アジサイ

下山したら満開のアジサイ

そして晴れた

5月31日（午前）小雨の韓国岳（カップを着て決行だ！）



周辺図

ミヤマキリシマ

サラサドウダン

ホッと一休み

頂上は風強い？

5月31日（午後）雨の中の高千穂峰（最強の2人で決行 本当に何も見えず！）



高千穂河原鳥居から



ビジターセンター？



標識に従い



天孫降臨・・・案内版を見て



案内板と標識



お鉢のミヤマキリシマ



天の逆錐を見に



2人で自撮り

6月1日 鹿児島観光そして帰路へ（鹿児島空港→セントレア空港）・・・台風接近、無事に飛んでヤレヤレ



霧島神宮鳥居



霧島神宮で何祈る



巫女さんが出現



西郷隆盛洞窟



仙巖園から桜島を望む



邸宅



仙巖園の庭園



夕食をビールで閉めて山旅終了！
（台風接近も、無事戻れました。感謝！）

5.行動記録

05/25 (月) 宮之浦岳 (1日目) 白谷雲水峡～新高塚小屋 晴れ

■ルート

白谷雲水峡→白谷山荘→楠川分れ→大株歩道入口→ウイルソン株→縄文杉→新高塚小屋



■行動 (行動時間 8時間 55分)

4:30 起床→5:00 宿発→5:30 白谷雲水峡着→5:45 雲水峡登山口発→6:45①白谷山荘1本→8:00②1本→8:35 楠川分れ→8:40③小杉谷山荘跡1本→10:00④大株歩道入口1本→10:40⑤ウイルソン株1本→12:05 夫婦杉→12:40⑥縄文杉1本→13:40⑦1本→14:40 新高塚小屋着

昨日、屋久島到着後、皆と協議して出発を早める事にした。タクシー会社へ即刻電話し、宿発を7時から5



お猿さんの歓迎だ!

時へ変更。各自起床し、朝食代わりの弁当を受取り出発準備。5時にタクシーへ乗り込んで雲水峡へ。いきなり、お猿さんの歓迎を受けびっくり。30分で雲水峡へ。登山届を提出し、軽く恒例のラジオ



白谷雲水峡登山口 (懐かしいな～)



くぐり杉をくぐって

体操をして出発。9年前に逆コースで歩いていたと思うとなんだか懐かしい気がする。雲水峡から入るという事で、雨を心配したが天気も良く杞憂に終わった。くぐり杉をくぐると、白谷山荘前で1本。皆、調子も良さそう



白谷山荘前で1本



苔の森を歩く（もののけ姫の世界か？）

ilson株に到達し、ゆっくりと休憩。株の中のハート型を確認する（ミーハーだな？）。ここから大きな杉がチラホラ出てくる筈。大王杉、夫婦杉、そして縄文杉にたどり着く。屋久島来たなら・・・と、縄文杉を心ゆくまで観光、堪能する。あとは、今夜の宿へ・・・と、新高塚小屋を目指す。小屋へ近づくにつれ、憧れのヤクシマシャクナゲが顔を出してくれた。あ～来た甲斐があった。この花が見られたら、大満足だ～。新高塚小屋でヤクシマシャクナゲに会えた喜びの宴を開いて、満足の1日が終了。明日も永田岳、宮之浦岳、黒味岳目指して頑張るぞ～。お休みなさい。

だ。七本杉を過ぎ、もののけ姫の世界たる苔の森を歩く。辻峠に到達も、太鼓岩はパスし先を急ぐ。1hぐらい歩いて1本。楠川分れを過ぎ、トロッコ道を少し歩いた所で1本（トイレ休憩？）。ここから、単調なトロッコ道をひたすら歩く。何か？眠くなってくるな～？大株歩道入口で1本とって、ここから本格登山道だ。急登が始まり、我慢大会だ。ウイル



小杉谷山荘跡で1本



有名なウイルソン株 なるほど♥だ

（記：津田）



退屈なトロッコ道（あくびが出そう）



縄文杉だぞ



縄文杉でかすぎて入りきらないぞ



初々しいシャクナゲ



← ヤクシマシャクナゲ群生

05/26 (月) 宮之浦岳 1,936m (2日目) 新高塚小屋～淀川小屋 晴れ

■ルート 新高塚小屋→焼野三叉路→永田岳→宮之浦岳→(黒味岳)→花之江河→淀川小屋



参加メンバー

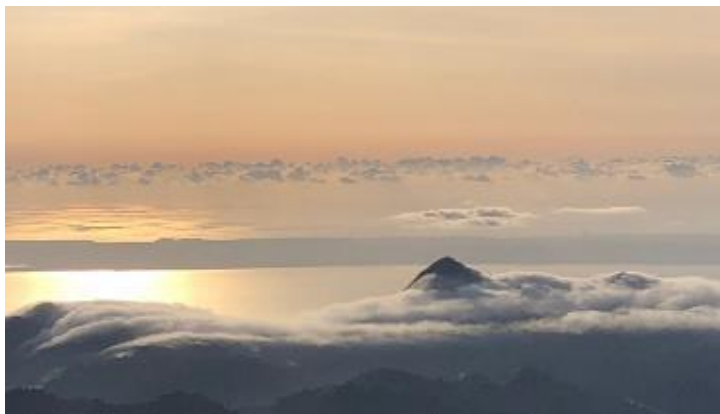
CL	津田 廣一
SL	竹内 幹雄
	上田 正博
	町田 修
	天野 広
	津田 利栄子
	金子 清

■行動 (行動時間 11時間 50分)

3:40 起床 → 5:16 新高塚小屋発 → 6:10 第2展望台 → 7:06 平石岩屋 → 8:20 焼野三叉路 → 9:20 永田岳 1,886m → 10:40 焼野三叉路 → 11:25 宮之浦岳 1,936m → 13:45 水場 → 14:25 投石岩屋 → 15:10 花之江河 → 16:05 黒味岳組と合流 → 17:06 淀川小屋着

起床し各自朝食をとる。今回私はモンベルのリゾッタ・魚肉ソーセージ・雑炊を平らげ、エネルギー不足のないようにした。「一ヶ月に35日雨が降る」といわれている屋久島ですが、今日の空は晴れていて気持ちが良い。第一展望台を通り過ぎるあたりから石楠花がいっぱい咲いている。第二展望台に着くと永田岳や雲海に浮かぶモッコム岳がきれいに見える。平石岩屋では宮之浦岳 永田岳の展望がとても良く暫く写真タイム。出発すると、猿の群れがいた。子連れもいた。笹原の中、宮之浦岳を見上げながら、また猿の糞を踏まない様に気をつけて焼野三叉路に向かう。石楠花もたくさん咲いていて癒される。三叉路にザックをデポし、背の高い笹原の中を歩き永田岳へ向かう。みんな結構疲れていて足取りが重い。頂上直下の岩場にある固定ロープをしっかり掴み登頂。永田の集落が遠くに見える。直下にデポした竹内さんを回収し三叉路へ戻る。40分で宮之浦岳に登頂した。頂上は登山者でにぎわっている。大休止の後で黒味岳に登る組とパーティ分けし出発。登らない組の私たちはゆったりペースです。途中の水場で給水し投石岩谷に着くと、大きな岩の上で休憩する。風が吹いてとても気持ちが良い。黒味岳登山口で「登る組」のザックを確認して通過する。花の江郷で休憩。鹿がなにかを食べている。人がいても逃げて行かない。あと少しでゴールの淀川小屋に到着する事を夢見て、後何百m、何百mと呪文を唱えながら淀川小屋に到着。疲労困憊だったが絶好の晴天に助けられた。

(記：天野)



雲海に陽が昇る



宮之浦をバックに（平石岩屋）



ヤクシマシヤクナゲと宮之浦岳



花之江河で食事中



樹林の中で休憩中

5/27 (土) 宮之浦岳 (3日目) 淀川小屋～淀川登山口 晴れ

■ルート 淀川小屋→淀川登山口→(観光)→民宿屋久島

■行動 (行動時間 1 時間 30 分)

6:00 起床→8:00 淀川小屋出発→8:50 淀川登山口
→9:30 紀元杉バス停→10:45 バスに乗る (観光)

6時起床で朝食の準備。食事を済ませてテントの片付け。出発は8:00。ワンピッチで登山口に到着。林道を歩いて紀元杉バス停まで行く。バスが来るまで紀元杉を見学しながら休憩タイム。定刻通りバスに乗って途中で乗り換え、屋久島空港で降りてレンタカーで「民宿屋久島」に移動する。昼食は近くの食堂「樹 (いつき)」で食べる。風呂は「楠川温泉」に行く。夕方、鈴木さんを空港に迎えに行き合流、民宿で泊まる。(記: 竹内)

参加メンバー

CL: 津田廣一、SL: 竹内幹雄、
天野広、上田正博、金子清、
町田修、津田利栄子



淀川小屋



朝食



淀川登山口



紀元杉

5/28 (日) 観光 雨のち曇り

予定通り山行を終えたので一日中観光を楽しむ。

朝食を済ませて8:40 出発。雨が降っているので予定していた「ヤクスギランド」は止めて「屋久杉自然館」を見学、「屋久どん」で食事、「千尋の滝」、「平内海中温泉」、「大川の滝」、「ガジュマル園」に立ち寄り観光を楽しんだ。(記: 竹内)



大川 (おおこ) の滝



ガジュマル園

5/30 (火) 開聞岳 曇りのち晴れ



参加メンバー
CL ; 上田正博
SL 竹内幹雄
金子清
町田修
津田廣
天野広
ゲスト ; 津田利栄子

■行動

7:00 朝食→休暇村発 8:00→ふれあいの郷出発 8:45→二合目登山口 9:00→五合目 9:50 (10分休息) →八合目 10:50 (10分休憩) →山頂着 11:26→山頂発 12:00→五合目 13:30 (10分休息) →二合目登山口 14:10→ふれあいの郷 14:30 着

開聞岳は綺麗な独立峰で薩摩富士と呼ばれ標高924mの山である。
登り出しはキャンプ場やバンガローが立ち並ぶ公園だが、暫くなだらかな樹林の中を登っていく。四合目の急登を過ぎ、緩やかになったところで五合目に到着。
五合目には展望台が設置されており、長崎鼻やその向こうの大隅半島、遠くに種子島や屋久島を望むことが出来る筈だが、???。曇ってうっすらしか見えない。頂上まで後2kmまで登ってきた。七合目を過ぎると岩場で急な所も在りロープや梯子を使って登る場所も現れ厳しい登りとなってきた。仙人洞を過ぎ、八合目まで来ると頂上まで0.8Km。この辺は岩が苔むして滑りやすい。山頂に到着したが曇りで視界がハッキリしない。時折ガスの晴れた一部から池田湖が望めた。下りは、1回の休みで2時間30分で下山。下山すると、天候が回復、開聞岳が美しく見えた。下山後、津田夫妻が、今日帰宅する為、鹿児島空港に見送りをして、次の宿ピコ ラナイ えびの高原へ向かった。



滑りやすかった

8合目付近



山頂で記念撮影



下山してみたら天候回復

5/31 (水) 霧島山(韓国岳)(からくにだけ) 小雨

■ルート えびの高原～韓国岳～えびの高原

全行程 5.9km 行動予定 4.0 時間)



参加メンバー

CL ; 金子清

SL ; 竹内幹雄、町田修

天野広、上田正博



霧島山(韓国岳)山頂

行動 (行動時間 3 時間 15 分 休憩含む)

ホテル ピコラナイ えびの高原 8:30 発～えびの高原登山口

8:35～韓国岳 10:15-10:25～えびの高原登山口 11:

40～ホテル ピコラナイ えびの高原 11:45 着

小雨が降る中、ホテル ピコラナイ えびの高原を 8:30 に出発する。登山道沿いにミヤマキリシマが咲いている。ガスがかかって周りの景色はかすかに見える程度。1 時間ほどで五合目休憩所に着く。休憩をとり山頂をめざす。

10:15 に山頂に着く。大浪池登山口から登ってきた一人の登山者と山頂で一緒になる。集合写真を撮ってもらい早々に下山する。五合目休憩所にいると外国人登山者二人(香港・ベラルーシ)が登ってきた。「どこの国から来たの?」とカタコトの会話でコミュニケーションをとる。一緒に集合写真をお願いし下山する。

ホテル ピコラナイ えびの高原に 11:45 に着く。今回はガスで何も見えなかったのが、次回登るときは天気の良い日にゆっくり登りたい。

ホテル ピコラナイ えびの高原に 11:45 に着く。今回はガスで何も見えなかったのが、次回登るときは天気の良い日にゆっくり登りたい。



えびの高原

(記: 金子)



登山口から韓国岳に向う



五合目休憩所



休憩所で外国人登山者と出会う

5/31(水)高千穂峰 小雨、時々曇り

■ルート：高千穂河原～御鉢～高千穂峰



メンバー

L：町田 修
金子 清

■コースタイム

高千穂河原発：12:30→御鉢：13:30→高千穂峰着：14:10／発：14:20→高千穂河原着：15:20

午前中にえびの高原から韓国岳を登り、午後、高千穂峰に登ったダブルヘッダーの「高千穂峰」報告です。

天照大神（アマテラスオオミカミ）の孫、瓊瓊杵尊（ニギノミコト）が神々の住む高天原から地上（日本列島）に降り立った日本建国神話のはじまり「天孫降臨」。その地、宮崎と鹿児島にまたがる霧島山脈の高千穂峰。折しも台風2号の北上で梅雨前線が九州南部まで下がり、小雨まじりの霧に包まれた登山口、高千穂河原一帯は神秘的で、まさに神々の降臨※写真①を窺わせる。雨中の韓国岳登山で愛想つかしたメンバーは（温泉＞登山）。

相棒は金子さん1人、森林限界まで続く石畳と石の階段※写真②の登山道を駆け上がる。登山道脇にはカマツカの花※写真③が多く咲いていた。その先は、赤茶けて砕けた火山礫と火山岩を縫うように登って行く。相変わらずガスの中、火山岩にも御鉢側の斜面にも「ミヤマキリシマ」※写真④／注①が、我々を道案内するように咲き誇っている。そして、山頂近くまでその花だけが咲いていた、孤高の花※写真⑤でもある。山頂近くに霧島神宮奥社※写真⑥がある。山旅の安全を祈願し山頂に向かう。頂には「天の逆鉾」※写真⑦だけが凜と鎮座している。展望の利かない山頂に長居は無用、早々に高千穂河原に駆け降りる。南九州の「おやじの山旅」初日“雨”のジクスは屋久島で免れたが、霧島山でしっぺ返し！



写真①



写真②→



写真③



写真④



写真⑤

注①

1,909年に霧島へ新婚旅行に訪れた植物学者・牧野富太郎が発見し、「深い山に咲くツツジ」という意味で「ミヤマキリシマ」と命名した。



←写真⑥



写真⑦→



高千穂峰 山頂

6. 特別寄稿

しゃくなげ 石楠花と宮之浦岳

2023.06.06 町田 修

私の故郷は鹿児島県、しかし屋久島を訪ねる機会は生まれて 67 年、一回もなかった。今回、南九州の山旅に「宮之浦岳」が候補に挙がったのを逃がす手はないと、早速山行プランに参画した。屋久島の魅力は洋上アルプスとして九州の最高峰 1,936 mとか、「縄文杉」を代表とする屋久杉群や屋久島花崗岩※1☞正長石の入った花崗岩（写真参照）の奇岩など原始の森、世界遺産の島、あるいは海の幸「トビウオ」の漁獲高でもトビウオ料理でも知名度が高い。勿論それらにも興味はある。が、しかし、私の屋久島への想いはそれとは違う「ヤクシマ石楠花」の現物を見るところにあった。「ヤクシマ石楠花」の開花時期を調べると、ベストシーズンは毎年 5 月末～6 月上旬らしい。特に 3 分咲きから 5 分咲きがとても綺麗で、最初の蕾は赤く、そして徐々にピンクから白に変わって咲いていくらしい。しかし、この時期に特有の問題「梅雨」が重なってくる。その梅雨入りを調べた。



※2☞九州南部の気象庁過去データ（表参照）

ただでさえ「一ヶ月に 35 日雨が降る」と云う、雨の多い屋久島、時期選定は重要なポイントである。結果、5 月末から 6 月上旬が梅雨入りで、3 分咲きの石楠花を狙い、5 月 24 日出発の 25 日・26 日・27 日山行を決めた。

ここに予想外のファクター台風が割り込んできた。台風 2 号の出現だ。雨は百も承知の山行準備だったが、台風の風雨となると話は違う。しかし、山の神は我々に味方した。台湾東部で停滞気味になり、その間に 2 泊 3 日の宮之浦岳縦走を好天の元で楽しめたのだ。2 日目の 5 月 26 日、新高塚小屋を出て宮之浦岳が見え隠れするころ「ヤクシマ石楠花」が見え始めた。点在する花崗岩と屋久笹の中に、それはそれは期待通りの 3 分咲き、5 分咲き、満開の石楠花がこれでもかと咲いている。まさに桃源郷の世界、天空のお花畑である。

なかなか物事は思い通りに行かない。しかし今回の「ヤクシマ石楠花」は期待以上の鮮度で我々を迎えてくれた。同行できなかった諸兄諸姉にも是非お見せしたかった。

ここは写真でご覧あれ。

年	梅雨入り	梅雨明け
2009	6/2ごろ	7/12ごろ
2010	6/12ごろ	7/20ごろ
2011	5/23ごろ	7/8ごろ
2012	5/30ごろ	7/23ごろ
2013	5/27ごろ	7/8ごろ
2014	6/2ごろ	7/16ごろ
2015	6/2ごろ	7/14ごろ
2016	5/24ごろ	7/18ごろ
2017	6/6ごろ	7/13ごろ
2018	6/5ごろ	7/9ごろ
2019	5/31ごろ	7/24ごろ
2020	5/30ごろ	7/28ごろ
2021	5/11ごろ	7/11ごろ
平年	5/30ごろ	7/15ごろ



7. 参加者の所見と感想

<金子 CL>

おやじの山旅 8 年目を迎えた。

昨年 5 月九州の山(北部)に続き、今回は九州の山(南部)、屋久島の永田岳・宮之浦岳・黒味岳、本土の開聞岳・霧島山(韓国岳、高千穂峰)6 座を計画した。雨の多い屋久島で好天に恵まれ、またヤクシマシクナゲも見頃で最高の山旅ができた。後半の霧島山(韓国岳、高千穂峰)は、あいにく雨の登山となったが計画通り 6 座すべて登ることができた。最終日は台風 2 号の影響でフライト(鹿児島空港～中部国際空港)を心配したが定刻通り発着でき無事帰宅できた。翌日(6/2)は四国、近畿、東海で線状降水帯が発生し、交通機関も大きく乱れ、地元三河でも大雨被害が発生した。間一髪セーフ、幸運だった。

今回の参加者はゲストの津田利栄子さん、鈴木浩子さんを含め 8 名(内 女性 2 名)の仲間が集まった。藤田勝啓さんが出発前日に体調不良(風邪)で残念ながら辞退された。・・・しかたない。あらためて出発前のコンディション作りにはお互い気をつけたい。コロナ感染防止対策も緩和されたが細心の注意をはかり、安全登山、安全運転に心がけ新緑の九州の山旅を楽しむことができた。メンバーに感謝したい。

10 月の山旅もしっかりした計画・準備で楽しい山旅を続けていきたい。

宿泊については今回も全国旅行支援キャンペーンの恩恵を受けた。宿泊費の割引及び地域クーポンをいただき経済的に大変助かった。

【金子記】

おやじの山旅 履歴

No.	年	期間	山域	主な山(標高)	参加人数
1	2016	6/25～7/3	北海道の山(道央・道南)	羊蹄山(1898m)	13
2	2017	6/24～7/2	北海道の山(道東)	羅臼岳(1660m)	12
3	2018	6/30～7/8	北海道の山(大雪)	トムラウシ山(2141m)	13
4	2019	6/22～6/30	北海道の山(道北)	利尻山(1719m)	13
5	2020	8/22～8/30	東北の山(南部)	磐梯山(1819m)	11
6	2020	10/16～10/25	東北の山(北部)	岩手山(2038m)	10
7	2021	10/6～10/14	関東の山(北部)	谷川岳(1977m)	8
8	2022	5/25～6/2	九州の山(北部)	阿蘇山(1592m)	9
9	2022	10/12～10/20	関東の山(南部)	浅間山(2568m)	9
10	2023	5/24～6/1	九州の山(南部)	宮之浦岳(1936m)	8

<天野 会計担当>

会計 ; クーポン等、有効に活用できて低コストで山旅ができました。ラッキーですね。

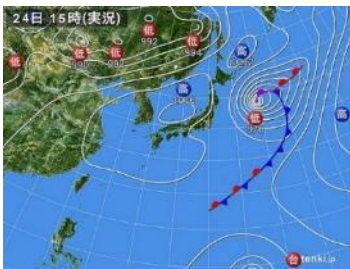
感想 :

- ・晴天続きでとても気持ちの良い山行となった。
屋久島ということで、雨対策として①靴の購入②防水の帽子を購入して備えたが、杞憂に終わった。
長時間の歩行も晴天のおかげで助かった。
- ・食料・水などを持ち上げるため荷物が重かったが、直前のトレーニング山行で感覚が掴めた。
- ・トビウオのから揚げがうまかった。
- ・レンタカー手配、人の出入りや、クーポンの発行トラブル、事故渋滞等、柔軟な対応が出来て良かった。

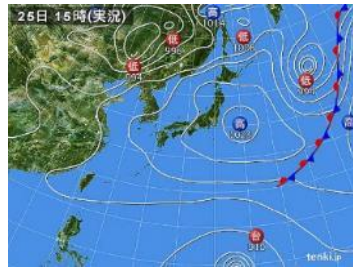
<竹内 気象・写真担当>

気象担当

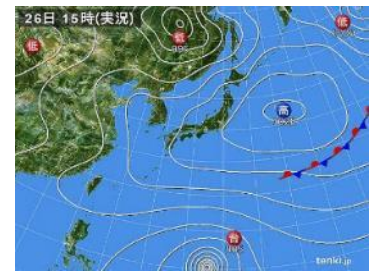
5/24 (水) 移動日 晴れ



5/25 (木) 宮之浦岳 1日目 晴れ



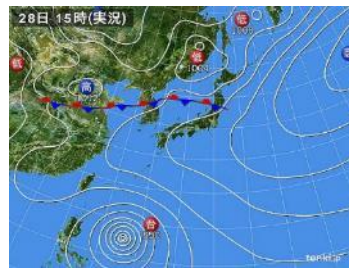
5/26 (金) 宮之浦岳 2日目 晴れ



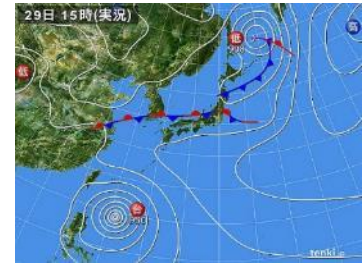
5/27 (土) 宮之浦岳 3日目 晴れ



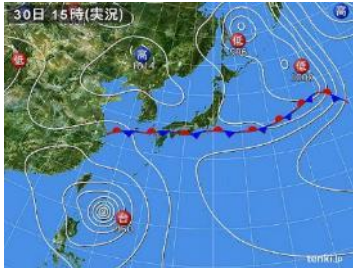
5/28 (日) 屋久島観光 雨のち曇り



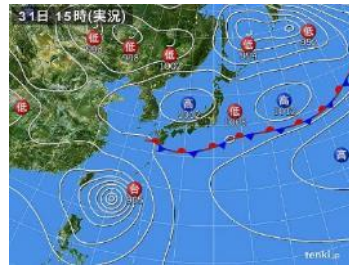
5/29 (月) 移動日 曇り



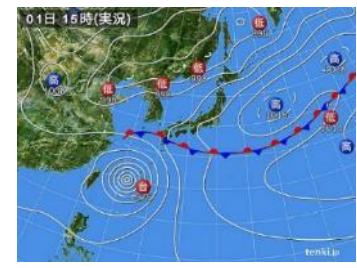
5/30 (火) 開聞岳 曇り



5/31 (水) 韓国岳・高千穂峰 雨



6/1 (木) 移動日 雨時々曇り



5/25～27 宮之浦岳は3日間晴れる。屋久島では珍しい好天に恵まれる。

5/30 開聞岳は曇り。山頂では晴れる。

5/31 韓国岳・高千穂峰は雨

写真担当：竹内

天気の良い屋久島では展望も良く写真がたくさん撮れた。雨の日は展望がないので写真が少なかった。

感想：竹内

日頃のトレーニング不足か、益々体力が落ちた気がします。

宮之浦岳の縦走は久々にテントを担いで登ったのでくたびれました。

天気の良い中を縦走できたのは運が良かったのか、とにかく登れて、本当に良かったです。

<町田 SL、地形・記録担当>

霧島の山々(韓国岳・高千穂峰)は過去、霧島ホテルに泊まった折、妻と朝飯前に登っている。開聞岳も帰省の折、妻と登っている。屋久島の山が初めてで興味深々だった。そこで見た「ヤクシマシャクナゲ」の話は別紙投稿。ここでは「屋久島自然館」で心に刺さった私の感想を記したい。

それは、島津藩の年貢取り立ての厳しさと、島人の対応です。薩摩藩は 77 万石と言われているが、実際にはシラス地層で米が作れる場所が限られたため、35 万石程の石高しかなく、しかも藩の人口の 4 割が武士と言う家臣の多さのため、最初からずっと赤字経営の藩だった。桜島の噴火や水害など自然災害も多く、おまけに幕府から木曾川の治水工事（千本松原の工事）などを請け負われ、藩の財政は火の車だった、当然年貢の取り立ては厳しかったはず。米の取れない島人は「屋久杉の平木※1」が生活の支えであり、年貢として納めた。片や、25km 離れた種子島は二毛作で米が取れる。花崗岩で覆われた島の生い立ちが米作に不適で、そこに容赦のない年貢取り立てと島人の平木対応の苦労を思うとき、辛いものがある。幸い、その伐採を逃れた「巨木の屋久杉」が世界遺産の一部として、観光の一翼を大きく担っている現実に救われる。

宮之浦岳よし、屋久杉よし、シャクナゲよし、観光よしの屋久島でしたが、知らなかった島人の過去を共有できた貴重な山旅でもありました。



この屋久杉から作る平木が米一俵に！

※1☞真直ぐな屋久杉を倒し、刃物で子割して平木をつくり、人の背で海岸までおろした。現在見ることでできる屋久杉は巨木と異形のため、加工に不適として伐採を逃れたモノ。

<津田 記録担当>

今回の山旅は、個人的理由で屋久島と開聞岳だけで、帰宅することになった。屋久島は9年前とほぼ逆コース。白谷雲水峡から入山する為、雨だけが気になっていた。9年前に雲水峡へ下山した時に、豪雨で増水した写真が展示されていて、“これは流されるだけだ”と思った。その様な状況なら、通行禁止の処置がとられるだろうと思うが、そこまでではない時はどうするか？入山前日から雨だった時の対応はどうすべきかと、個人的に考えていた。幸いにも、天候はよい方へ傾き、行動中は雨に降られる事もなく、3日間の楽しい山行となった。特に、ヤクシマシャクナゲの開花時期に合わせての入山で、新高塚小屋近辺から、宮之浦岳を越える辺りまで、可憐な群生の花を楽しみながらの最高の縦走となった（9年前は4月で花が咲いてませんでした）。永田岳もピストンしたが、9年前よりもしんどく感じたのは、歳を重ねたせいだろうか？宮之浦でゆっくり組と分れ、町田、金子と私の3人で黒味岳も欲張ったが、山頂では疲れ切って寝そべっての記念写真となった。屋久島縦走は、大満足の山行であった。翌日の予備日が小雨の観光となったのは幸運と言わざるを得ない。（屋久島の女神に微笑んでもらったのかもしれないね。）

他に屋久島では、自由行動を許してもらい、友人のH君と数年ぶりの再会ができた。H君、以前よりもスマートになっていて（体調崩し死にかけたとの事だったが）、現在は健康も取り戻したとの事。9年前のネコちゃんも存命で、懐かしい一時を過ごすことができた。お互い、健康に注意してしぶとく生き延びたいものだ。

鹿児島へ飛んで開聞岳登山に同行した。ハイキング気分で参加したのだが（30年前に7歳の娘と5歳の息子を連れてのファミリー登山でほとんど休憩なしで登った）、蒸し暑さで全身汗だくの過酷登山となった。今日は帰宅予定なのに、“このままでは帰れない”と心配が増えてしまった。下山後、鹿児島空港へ送ってもらい、観光案内所へ直行。近くの日帰り温泉を確認する。一番近いところが休みとの事で、次に近い温泉までタクシーを飛ばす。運転手のご厚意で、駐車場まで送ってもらい、急いで風呂へザブン。汗を流してサッパリして、空港へトンボ帰り。食事時間が確保できたので、鹿児島の黒豚定食を食べて搭乗。無事に帰宅出来ました。皆さん、ありがとうございました。

<上田 記録副担当>

今回は屋久島を中心に九州南部のコースを登りましたが、特に屋久島は食料、水、防寒着などの装備でザックが重くなった。1日目は白谷雲水狭から入り縄文杉を經由して、8時間の登りで山小屋までの行程であった。

山小屋は1300mほどの所に在り、夜は5°C以下にも冷え込み、シュラフを持参しなかった為、防寒着をすべて着ても、寝付くことが出来なかった。次の日は永田岳をピストンして、宮之浦岳(1936m)を登頂して、淀川小屋まで12時間の行程を歩き、体力的にかなり消耗した。小屋は登山者も多く、テント泊りとなった者がでてきたが、メンバーの配慮で山小屋で寝ることが出来た。しかし、マットの空気が抜けて、寒さで寝付かれなかった。

3日目は3時間程の紀元杉近くのバス停までの下山で助かりました。3日間の登山を終えて、楽しみにしていた縄文杉、ウイルソン株、紀元杉など3000年以上の太古からの命の雄大さに圧倒された山行でした。最南端の100名山、宮之浦岳に登頂出来た事に感謝しています。

また「一ヶ月35日雨が降る」と言われるほど雨の多い島ですが、晴天に恵まれたことに感謝すると共にメンバーの配慮と協力での山旅がとても嬉しいです。感想、感謝です。



<鈴木 浩子さん>

屋久島、鹿児島行き

今回も、たいへんお世話になりました。皆さんと一緒に歩くことは叶わなかったけれど、島の空気を、食を沢山にいただくことが出来ました。

山旅、これからもご一緒させていただきたいこと、歩かせていただきたいこと、お願いします。

ありがとうございました。

<津田 利栄子さん>

今回も参加させて頂きました。本当にありがとうございました。私用があり、開聞岳までの参加でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。屋久島は9年ぶり、前は花を楽しむことができませんでしたが、今回はサクラツツジ、ヤクシマシャクナゲ、足元にはフタリシズカ等、花を愛でながらの山行で長時間の山行も楽しく歩くことができました。縄文杉、苔の森等、いつまでも身を置きたくなる場所ばかりでした。開聞岳は“暑い”につきました。30年前に子供達と一緒に登った時は、もっと楽だったのでは・・・？どちらも天気に恵まれた山行でした。1年1年、年を重ね、さて次回は??と思いますが、おやじの皆様、鈴木さんとご一緒できる機会も楽しく、もう少し参加させて頂きたいと思っています。参加するためのトレーニングも、今の私の一つのチャレンジになっています。どうぞよろしくお願いたします。

参考；会計報告

項目	金額(円)	備考
宿泊費	322,860	全日程 9 日間参加;48,330 円/1 人 (7 日間参加;29,310 円/1 人 4 日間参加;22,590 円/1 人)
ドリンク代等	34,640	
交通費	123,493	23,094 円/1 人
(レンタカー代)	(103,910)	交通費に含む
(ガソリン)	(14,123)	交通費に含む
(高速代 + 駐車料)	(5,460)	交通費に含む(高速代;4,960 円 駐車料代;500 円)
合計	480,993	

【編集後記】

8年目に突入です。8年間、楽しい山旅を続ける事ができてよかったです。今回の山旅では、途中で帰宅せざるを得ず、韓国岳、高千穂峰登山や最終日の観光の情報がなく、皆さんの写真だけを頼りに編集しました。ところが、撮られた写真の時間経緯が分からず、この写真がどちらで撮られたものか？悩んだ末の結果です。間違いはないと思っはいますが、もし、間違っていたら御免なさい。

10年計画ですから、今年の秋も含めて残り3年。頑張って編集作業も、続けていきますので、皆さん、楽しい山旅を続けましょう。よろしくお願いたします。